

受賞者からのコメント

● 授業を行うにあたって工夫していること

母性看護学で主に教えている妊産褥婦、新生児の身体的変化に関して、学生はイメージが付きにくいと思うので、友人や知り合いの協力で得た実物の写真をパワーポイントで写しながら授業を行っています。特に、新生児については学生全員がその経験を持っているので、出生体重や在胎週数、分娩様式などを聞き、新生児と一言でいってもそれぞれ特徴をもって生まれてきていることを、学生自身の状況に引き寄せて考えてもらっています。

また、教えるときには、女性の身体に備わっている子どもを産む能力の不思議さ、母と子の身体と心のつながりの巧妙さや素晴らしさについて、私自身が感動しながら学生に伝えているように思います。

授業中は、学生から質問や意見が出にくいので、出席カードに質問や意見の欄を作りました。カードに書かれた内容に対しては、ある程度カテゴリーにまとめ次の授業で必ずフィードバックするように心がけています。学生の8~9割が記載してくれるので、授業時間の半分をこのフィードバックに使うこともあります。学生からは、自分の質問が読まれて嬉しかったという反応もあり、「お便り紹介コーナー」のような雰囲気になっています。

● 学生への要望・アドバイス等

この度は、ベストティーチャー賞に選んで下さってありがとうございます。この賞の名に恥じぬよう今後も精進していきたいと思えます。

私が教員として成長するエネルギーの源は、皆さんからの質問や意見です。どんな質問、意見、感想でも良いので授業に対するフィードバックをもらえると嬉しいです。これまで皆さんからいただいた意見・感想を読むと、自分の想像と実際の違いの発見から学びの面白さにつながっていたり、ベビーモデル人形を抱っこしながら本物の赤ちゃんと接する場面を想像していたり、母乳育児の場合何ml飲んでいるかわからないので水分・カロリーの過不足をどのように判断するのかなど考えながら授業に臨んでいることが伝わってきました。このように興味・関心をもって授業に参加すると、知識は何倍にも膨らみますし、技術も磨かれていくと思えます。

対象者の健康状態を判断・予測する難しさと看護の楽しさを感じながら、自分になりたい看護師像目指して頑張ってください。